

■平成 24 年度 第 4 回教育研究会議議事録

1. 日 時 平成 24 年 7 月 10 日(火) 13 時 30 分～14 時 45 分

2. 場 所 学術交流会館 特別会議室

3. 出席者

奥野学長（議長）

安保理事、村田理事、今井理事

中辻委員、川越委員

池田工学研究科長、小崎生命環境科学研究科長、前川理学系研究科長、松川経済学研究科長、萩原人間社会学研究科長、高見沢看護学研究科長、高畑総合リハビリテーション学研究科長、辻現代システム科学域長、伊藤工学域長、高辻地域保健学域長、高橋高等教育推進機構長、寺迫国際交流推進機構長、竹内学生センター長、吉田第 1 学群長、石井第 2 学群長、奥田第 3 学群長、山本第 4 学群長

<オブザーバー>

辻田理事、長澤理事

[審議事項]

[報告事項]

1. 平成 25 年度以降の助教の採用について

本学では若手教育研究者の育成・確保のため、文部科学省補助事業として、平成 20 年度から高インセンティブテニユア・トラック事業を、平成 23 年度からはテニユア・トラック普及定着事業を実施してきた。こうした取組をさらに推進するため、平成 25 年度以降に採用する任期付助教については原則として採用後 5 年目でテニユアの資格を付与する、いわゆるテニユア・トラック制度に移行する方針である旨、報告された。

2. 平成 24 年度入試結果の分析について

平成 24 年度の入試結果の分析について、以下の通り報告された。

■平成 24 年度学域・学類入試に向けた広報活動の検証

学域学類体制の認知度向上と志願者数の確保を目指して活動し、直接的なコミュニケーション機会の拡大(進路相談会、高校生対象説明会、オープンキャンパス等の開催)に努めた。結果として、志願者数等の量的拡大は達成。ただし、前年度までの入試データが未整備であったため、効率的な広報活動に課題が残った。

■平成 24 年度本学の入試結果の検証

一般入試志願者（前・後・中期）9,389 人(対前年 91.6%)、推薦入試志願者（センター試験利用あり・なし）884 人(対前年 98.3%)であった。センター試験受験者全体の平均点と一般入試合格者のセンター試験平均点を比較すると、全体的に一般入試合格者の平均点が高くなっており、高学力者層が一般入試に合格していると言える。

その他、志願者の出身高校所在地別の分析、志願者上位高校の状況などの報告。

■平成 25 年度入試に向けての広報ポイント

- ・進学相談会、高校内ガイダンス、各種説明会による直接的コミュニケーション活動の継続。
- ・データベースを活用した効率的な広報活動。
- ・大阪を中心とした地元エリアの高校や、予備校関係へのアプローチ強化。
- ・名古屋試験会場の志願者増のため、東海地区へのアプローチ強化。

3. 平成 24 年度第 2 回入試運営委員会(6/12)の議事概要について

平成 24 年 6 月 12 日(火)に開催された第 2 回入試運営委員会において、今後の入試実施体制、平成 25 年度入学者選抜要項、平成 25 年度入試日程等について協議され、承認された旨、報告があった。

また、第 1 回・第 2 回入試広報部会について並びに平成 25 年度大学入学者選抜実施要項について資料に基づき説明があり、確認された旨報告があった。

4. 本学主催入試説明会の結果等について

平成 24 年 6 月 18 日(月)と 22 日(金)に本学単独高校教員対象入試説明会が開催され、合計で 71 校から 74 名の参加があった旨、報告された。

併せて、平成 24 年 6 月 20 日(水)、21 日(木)、26 日(火)に本学・関西大学合同の入試説明会(高校教員対象・生徒対象)が開催され、合計で、高校教員対象は 147 校から 153 名の参加、生徒対象は 401 名の来場者があった旨、報告された。

5. 平成 24 年度第 2 回国際交流会議議事概要について

平成 24 年 6 月 13 日(水)に開催された第 2 回国際交流会議について、平成 24 年度外国人招へい教員事業（後期）の審査について、6 件を採択すること、また 2 件の追加募集を行うことについて協議され、承認された旨、報告があった。

また、平成 24 年度大阪府立大学基金国際交流推進事業および大阪府立大学後援会国際交流事業の取り扱い要項について、説明があった旨、報告された。さらに、ナント大学（フランス）との学術交流協定締結が承認されたことに伴い、締結に向けた手続きを進めている旨、報告された。

以上